

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後クラブ おりーぶ		令和7年3月31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・適切である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・バリアフリーではないが、滑り止めシートをはる等、安全に配慮している。 ・子どもに分かりやすく構造化している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		室内の清掃や、整理整頓をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用者の特性や状況に応じて、パーティションなどで環境設定し安全に過ごせるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・職員それぞれの立場から、支援の効果を評価し、今後の目標設定を検討する支援会議に広く職員が参画している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎年2月にアンケート調査を行い、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日、支援開始前にミーティングを行い意見交換している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者評価は行っていないが、検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修の機会を確保している。 ・東区発達支援ネットワーク会議や、児童発達支援センター機能強化事業の会議等、参加している。オンライン研修も利用している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・児童の特性を考慮した上で、客観的に課題や支援について分析し作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフ会議を行い、関わる職員が共通理解のもと検討している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		療育中でも、放課後等デイサービス計画が確認できるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・発達検査等の結果を把握し、支援計画作成や支援に活かしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの内容を踏まえた上で、一人一人に合わせた支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員で活動内容の検討をしている。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節の行事や提供時間に応じ工夫している。 ・子どもの特性を考慮し、職員間で話し合い立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・児童の特性に応じ、個別・小集団・集団活動を組み合わせ計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援前、職員の一日の動きや担当児童を決め、全体の動き、個人の動きを職員間で確認し共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援後、その日の振り返りを行い、気付いた点の共有に努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援日報へ具体的に細かく記録し、振り返り検証ができるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年に1回以上、保護者・相談支援事業所と情報共有連携して、見直ししている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・複数組みあわせて支援している	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		・視覚支援ツールを使い、自分で選ぶ力を育てるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者や、担当職員が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・支援を行う体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校との情報共有については、送迎時に、担任の先生から申し送りで共有している。また、送迎時トラブルについても、連絡調整を適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・担当会議を行い、相談事業所から頂いた情報を元に支援内容を検討し、児童発達支援事業所等と共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・利用児童のこれまでの支援内容等を、相談支援事業所へ提供し情報共有に努めている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・児童発達支援センター等の研修会に参加している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・平日、児童館は16時に閉館するので、利用は難しい。提供時間が長い、長期休暇時等に交流する機会をつくりたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・児童発達支援センター機能強化事業に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳でやり取りし、送迎時に様子を伝え、発達の状況や課題について共通理解をしている。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者からの相談に応じて、家庭での対応方法アドバイスを行っている。	・研修の情報提供を行う
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時や法改正時には、重要事項説明や利用者負担の説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・担当会議やモニタリング時、家族の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・支援内容を説明し同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者から相談があった場合は、個別に対応し、必要に応じて助言と支援を行っている。	・毎月面談週間をつくり、保護者の希望を確認し取り組みたい
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・年に一度、保護者会を開催している	・保護者の参加が少ない。 ・内容や方法を検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情があった場合、管理者が迅速に対応し解決策や再発防止に努めている。	・苦情受付窓口を、より周知するために保護者会で説明する。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・年に3回会報（おりふ新聞）を発行し、情報発信している。 ・行事予定は予定表でお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・守秘義務の厳守については、運営規定の内容を確認し留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・保護者との意思の疎通や情報伝達については、連絡帳・電話・ラインなどを活用している。 又、児童とは、意思伝達カードやスケジュールカードを使い配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・地域住民を招待できるよう検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・発生を想定した訓練は実施している。	・マニュアルは分かりやすく文章化し配布する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に、火災・地震・不審者対応の訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・服薬など処方箋の確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・現在、医師の指示書に基づくアレルギーの子供はいないが、保護者から気をつける食物は確認し対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、それに基づいて支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・年度始めに、緊急連絡先等について説明を行っている。	・より詳細な安全対策についての、共有を行う。 ・毎期ごと、安全確保についての取り組みを周知する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		・ヒヤリハット報告書を作成し、その都度職員で話し合い、対処法を検討共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的に勉強会を行っている。	
54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	○		・従業員全員に周知徹底している。		
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・やむを得ず、身体拘束が必要な子どもの保護者には、理由や方法を十分説明し、同意を得た上で放課後等デイサービス計画に記載している。		